

第18期事業年度
(令和3年度)

決算報告書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

国立大学法人帯広畜産大学

令和3年度 決算報告書 (第18期事業年度)

国立大学法人帯広畜産大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,758	2,842	83	(注1)
施設整備費補助金	—	618	618	(注2)
補助金等収入	41	298	257	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	—	
自己収入	1,066	1,061	△4	
授業料、入学料及び検定料収入	722	719	△3	(注4)
雑収入	343	342	△0	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	377	544	167	(注5)
目的積立金取崩	211	227	15	(注6)
計	4,475	5,612	1,136	
支出				
業務費	4,023	3,844	△179	(注7)
教育研究経費	4,023	3,844	△179	
施設整備費	20	638	618	(注8)
補助金等	41	252	211	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	377	375	△2	(注10)
長期借入金償還金	13	13	0	
計	4,475	5,122	647	
収入－支出	—	489	489	

(注) 決算報告書は、百万円未満切り捨てにより作成しています。

(注) 「運営費交付金」には、前年度からの繰越分70百万円が含まれています。

(注) 「補助金等収入」には、授業料等減免費交付金が45百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度からの繰越額および予算段階では予定していなかった追加交付がされたことにより、予算額に比して決算額が83百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が618百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が257百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料収入が見込額を下回ったため、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携収入が当初の予定より53百万円増加したこと及び寄附金収入等が当初の予定より113百万円増加したことに伴い、予算額に比して決算額が167百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩の発生により、予算額に比して決算額が15百万円多額となっています。
- (注7) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が179百万円少額となっております。
- (注8) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が618百万円多額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が211百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、収入額は多額となっておりますが、支出額は、一部事業の翌事業年度への繰り越しのため、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。